

## HP掲載用「医学科卒業生に対するアンケート結果の分析」

2022年6月10日

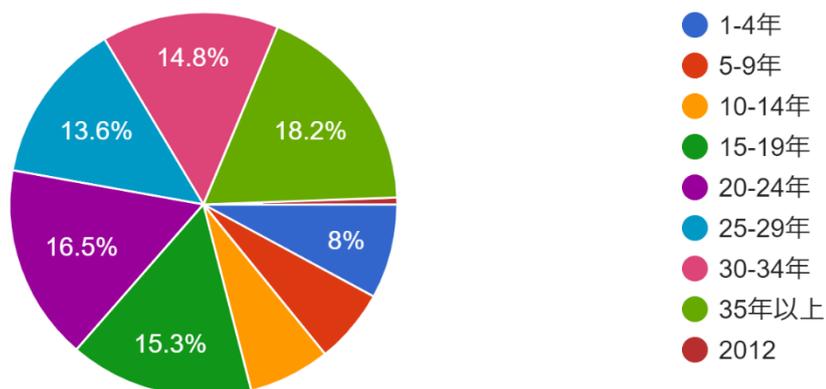
【背景と目的】卒業生の状況を評価して教育カリキュラムへの反映が求められている。特に、本学の教育上の特色である和漢医薬学薬や認知情動脳科学の教育成果を把握して教育へ反映する必要がある。そこで、医学科卒業生の業績（現在の職位、論文等の成果、地域医療への貢献等）と、和漢医薬学や認知情動脳科学の教育に対する卒業生の意見を調査することを目的とした。

【方法】同窓会名簿にある約2,300名の富山大学医学部医学科卒業生に対して、医局、同門会、及び、同窓会報を介して依頼した。

【結果】（回答率7.6%）

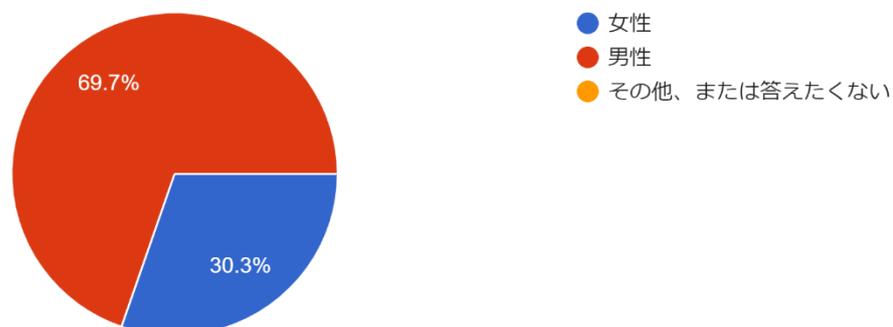
### 属性 卒業後年数

176 件の回答



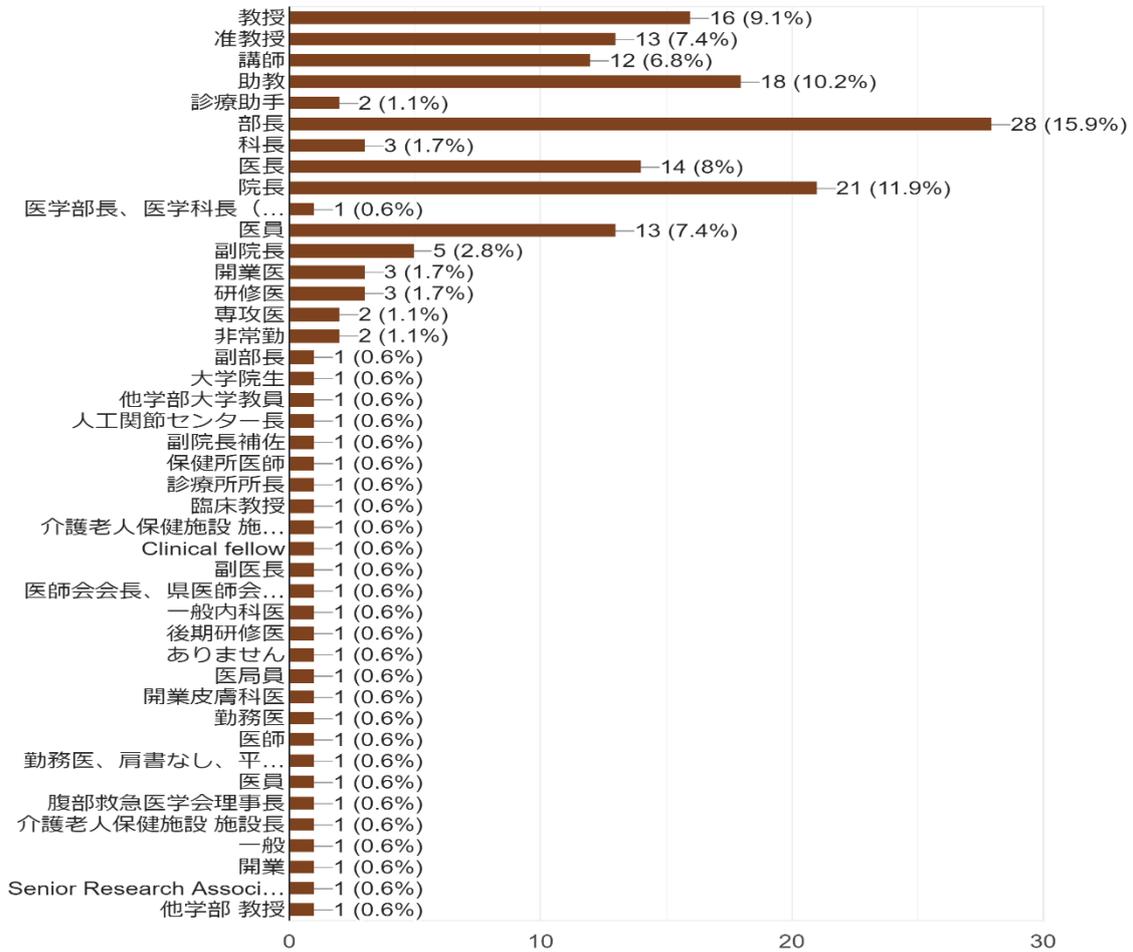
### 性別

175 件の回答



現在の職位を教えてください（重複可、特任、特命等も含む）

176件の回答

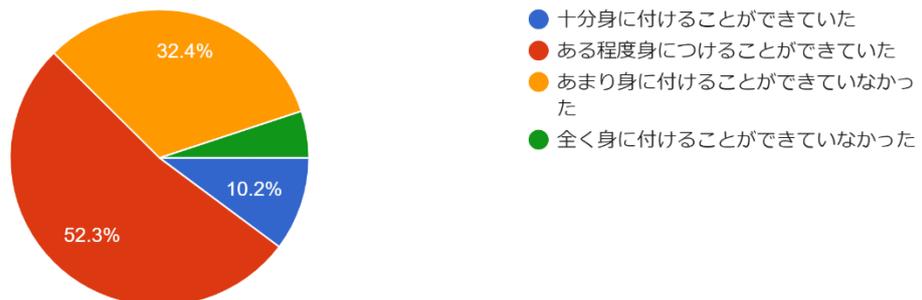


【現在までに記載した論文数・書籍、寄稿文の概算数（査読の有無は問わない）】

範囲は0~500、平均98、中央34、標準偏差138であった。

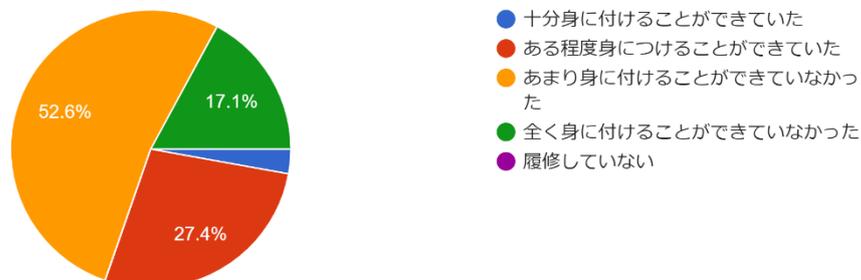
【社会で働くために必要な能力を、卒業・修了時にどの程度身につけることができていると思いますか。】

176件の回答



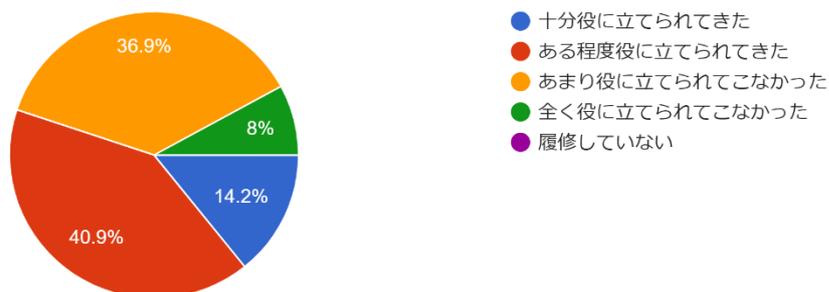
【社会で働くために必要な能力として、卒業・修了時に和漢医薬学をどの程度身につけることができていたと思いますか。】

175 件の回答



【社会で働くために必要な能力として卒業後に和漢医薬学をどの程度役に立てられてきたと思いますか。】

176 件の回答



(和漢医薬学に関するアドバイス、メッセージ、ご要望。60回答のまとめ)

受験時には強調するものの、在学中の勉強は役には立たなかった。臨床では役に立つので、特色に位置づけるなら、もっと力をいれて教育し、しっかりと勉強して欲しい。ただ、漢方は西洋医学を学んでからでも遅くないのと、臨床研究に力を入れるべき。

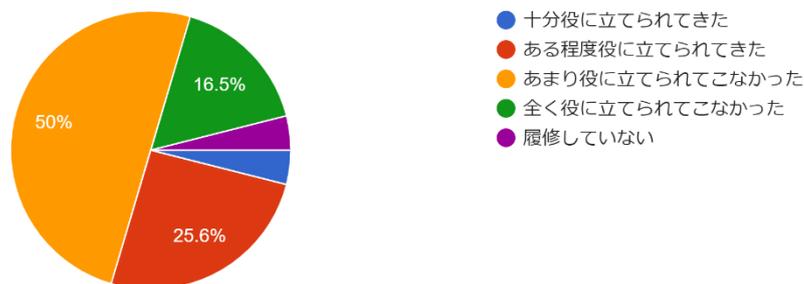
【社会で働くために必要な能力として、卒業・修了時に認知情動脳科学（大脳生理学や神経科学など）をどの程度身につけることができていたと思いますか。】

176 件の回答



【社会で働くために必要な能力として卒業後に認知情動脳科学をどの程度役に立てられてきたと思いますか。】

176 件の回答



（認知情動脳科学に関するアドバイス、メッセージ、ご要望。36回答のまとめ）

認知情動脳科学の基礎研究は難しかったが面白い部分もあるものの、臨床に必要な認知情動脳科学の臨床に役立つ授業があるとよいと思った。富山大学のアピールポイントとしてもっと広報活動されたらよい。

## 【まとめ】

医学科卒業生全員を対象とした初めての卒業生アンケートを実施し、7.6%の回答を得た。卒業後年数が35年以上の部長、院長クラスの回答が最も多く、論文数中央値が34という集団からの回答となり、卒業後の地域医療への貢献や学術的業績が確認された。最近の医学科カリキュラムを経験した卒業後1-14年までの回答率は低かった。

卒業生からの意見として、62.5%が社会で働くために必要な能力を、卒業・修了時に十分・ある程度身につけることができたと回答した。

和漢医薬学については、回答者の30.3%が卒業・修了時に十分・ある程度身につけることができたと回答し、55.1%が卒業後に十分・ある程度役に立てられてきたと回答し、フリーコメントでは医学を学んでから臨床で役に立つ形での和漢医薬学の教育・学習を期待した。

一方、認知情動脳科学については、29%が卒業・終了時に十分・ある程度身につけることができたと回答したが、29.5%が卒業後に十分・ある程度役に立てられてきたと回答し、フリーコメントでは、臨床に必要な認知情動脳科学の授業を期待した。

今回指摘された点を考慮した上で、医学科カリキュラムの改善を行い、次回の卒業生アンケートでは卒業後10年未満の回答率を向上させる対策が必要と考えられた。

富山大学医学部医師キャリアパス創造センター三原弘・高村昭輝・  
森永芳智・岸裕幸・関根道和